新総サッカー部日誌

新座総合技術高等学校
サッカー部顧問　松村健
２０２２Vol.１７

２０２２年９月１７日（土）　＠新座総合技術高校　１５：３０ＫＯ
Ｕ１８リーグ第１０節(最終節)　vs 川越高校Ⅱ

前半　１－１
後半　０－１
合計　１－２

「努力と感謝」

今シーズンのラストゲーム。３年生との最後の試合。リーグ戦の良いところは、勝って終われるところ。選手権予選は負けてしまいましたが、リーグ戦最終節に向けて準備をしてきました。当初の予定では９月１１日に行われる予定でしたが、コロナの影響もあり、１週間延期となり、１７日に行われました。

試合は集中した入りができ、１０分にコーナーキックから先制点を奪う。しかしその後、相手コーナーキックから同点ゴールを奪われる。集中した守りから、スペースへのランニングと縦に早くボールを運ぶことを表現する場面が多く見られ、相手ゴールに迫る展開が続く。

後半は押し込まれる時間があるものの、前半と同様に縦に運ぶことを意識して、相手ゴールを目指す。しかし、６５分にディフェンスライン裏に抜け出され失点。その後、サイドから相手ゴールに迫るものの追いつくことができず試合終了。

勝って、３年生を送り出したかったのが本音ですが、それは叶いませんでした。試合運びは大きな成長が見られ、個々のスキルも大きな成長が見られました。３年間続けてきたからこそ見られた成長であり、本当に嬉しかった。努力を継続してきたからこそ得られたこともたくさんあります。

一緒に時間を過ごしてきた中で、もっとやらないといけないと思ったことも実際にはたくさんあります。自分たちに厳しさを持てなかったことによって選手権の結果や、今日の結果につながったのではないかと思う事柄も多くあります。私は、サッカーは人生の縮図だと思っています。目的地に向かって、仲間と心を通わせて、コミュニケーションをとり、力を合わせて困難に立ち向かう。これから先、必ず同じ状況と出くわす。だからこそ、この３年間の取り組みをしっかりと振り返って、これからの人生の糧にしてほしいと心から思います。

ただ、もう一度同じことになりますが、他の人たちができないような努力を続けてきた事実がある。続けてきたことは自信にしてほしいと思います。そして、努力を続けてこられたのは、理由が必ずある。多くの人たちが支えてくれたからこその努力の継続があった。この日も、多くの保護者やＯＢなど、関係する方々に足を運んで下さりました。努力をし続けることの大切さと、感謝の心を忘れないでいること。３年間を通して感じたことを大事にしてほしいなと思います。私も、３年生と共にした経験を大切にして、更に前に進んでいきたいと思います。

今シーズンも多くの方々に支えて頂きました。本当にありがとうございました。多くの人の心を動かせる試合を目指して、戦い続けます。来シーズンも宜しくお願い致します。